

F-82

46
62
226

訴訟書類郵送手續金

瀧陽 瑞稻舎發兌

名古屋郵便電信局長正七位土居通豫君序文

岐阜郵便電信局長古市八音君校閱

郵便電信局書記補森榮次郎君編纂

序

坡華英業以師以來曰未列部
 德事功身之志擬在曾編纂以
 潤地也新以如順序方法之法
 規今遠向答等備已之考然順
 日有勸勵之以上子世在因



序文

二
議烏乃修補校訂名曰評定書
新郵送自續續子為之序亦
負其任之責者喜受不讀之集
集整備各條明晰蒙主編之意
非鮮少之也之也世蒙其惠者
蓋不為少矣抑其要之在否可

不必據其順序方誌若夫後然
為之不得失程主或命矣夫至
若從便之法律規則在則殊不
可不得意之者一且錯其順序
方法亦不當不能貫連其法律
規則之趣旨遂至毀傷其執事

者之職任之之而成且情狀而
不陷占其執事之生活動之其
法律規則之範圍中之不能不
可之詳悉之也其法律規則之
為順而方法也猶昇高之為世
服而已決非可生忍也也

之有決舉予豈以不替揚於於
是乎序

明治廿四年大震災二十有六
日於聖德寺院內

名古屋對彼電信局長室坐居通豫

訴訟書類郵送手續

岐阜郵便電信局長古市八音校閱

郵便電信局書記補森榮次郎編纂

第一編 總則

訴訟書類郵便送達手数料ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシ

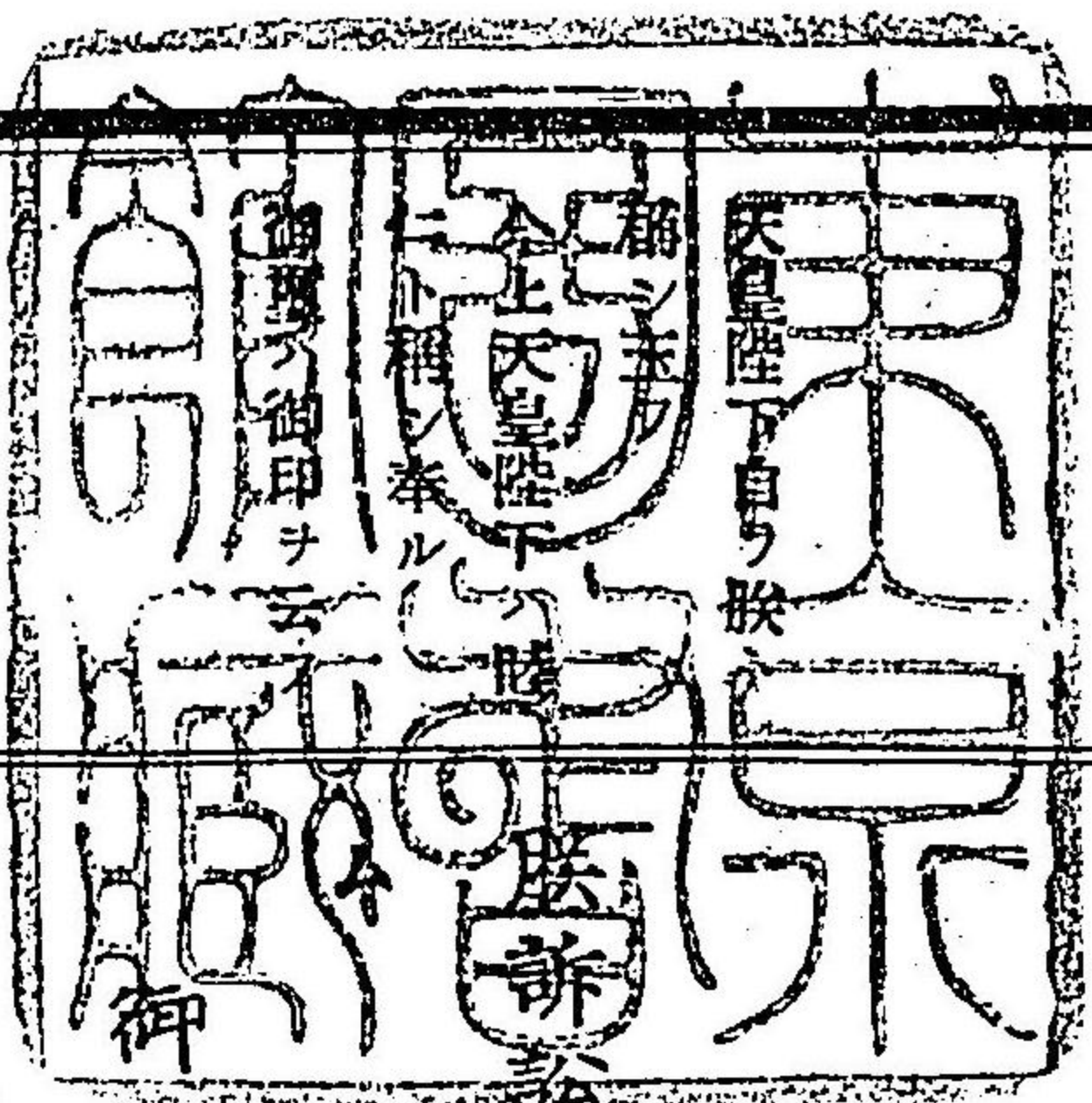
名 御 璽

明治廿四年六月六日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

勅令第五十四號

民事訴訟法第百三十六條ニ依リ郵便ヲ以テ訴訟書類ノ送達



民事訴訟法第百三十六條 送達ハ裁判所書記職權ヲ以テ之ヲ爲サシム

裁判所書記ハ郵便
ニ依リテモ亦送達
ヲ爲サシムルコトヲ
得

刑事訴訟法第十九
條 書類ノ送達ハ
此法律ニ於テ別ニ
規定アラサルトキ
ハ民事訴訟法ノ規
定ヲ準用ス
指令達示トアルハ
逓信大臣ノ令達ヲ
指ス

ヲ爲ストキハ郵便稅書留手數料ノ外送達手數料トシテ一通
ニ付五錢ヲ納ムヘシ但其手數料ハ郵便切手ヲ以テ前納スル
モノトス

●函館郵便電信局(以下單ニ何)同七月
聊カ疑關之レアルトモ勅令第五十四號ハ民事訴訟書類送達手續ヲ定メラ
レタルモノニ付刑事ニ關スル訴訟書類ハ此手續ニ據リ送達スル限リニ之
レナキヤ

▲指令八月 訴訟書類送達手續ニヨリ取扱フヘキモノトス
公達第二百三十七號 明治廿四年六月九日

郵便電信局
郵便局
訴訟書類郵便送達手續左ノ通相定メ來七月一日ヨリ施行ス

回答ハ郵務局ノ回
答ナリ以下之ニ倣
フ

郵便取扱規則第二
十四條 郵便物ハ
受付ノ際左ノ事項
ヲ檢査スヘシ(一)
郵便條例第十六條
ニ記載スル物品ナ
キヤ否ヤ(二)寸尺
又ハ重量ノ制限ヲ
超過セサルヤ否ヤ
(三)封緘包裝方充

●名古屋局照會六月 公達面ニハ郵便電信局郵便局トアリ郵便受取所ハ
掲ケナキモ普通書留郵便物同様同所ニ於テモ該手續ニ依リ受付事務取扱
セヘキヤ

▲回答六月 郵便受取所ニハ取扱ハセサルモノトス
▲回答七月 郵便受取所ニハ取扱ハセサルモノトス

第一章 局員取扱方

第一條 訴訟書類ハ總テ書留郵便トシテ取扱フモノトス

第二條 裁判所書記又ハ其委任ヲ受ケタルモノヨリ訴訟書
類ヲ郵便ニ差出シタルキハ先ツ表書明瞭ナルヤ否貼付ノ切
手ハ郵便稅書留手數料及訴訟書類送達手數料ニ相當スルヤ
否其他郵便取扱規則第二十四條ニ依リ檢査シタル上之ヲ受

分ナルヤ否ヤ(四)
 損傷浸濕ナキヤ否
 ヤ(五)表書及ヒ記
 號適當ニシテ且分
 明ナルヤ否ヤ(六)
 郵便物ノ種類(七)
 郵便税ヲ納ムヘキ
 モノナルヤ否ヤ
 (八)郵便税又ハ手
 數料ヲ納ムヘキモ
 ノハ其相當定額ハ
 幾許ナルヤ又其定
 額ハ前納ナルヤ否
 ヤ等(九)不正又ハ
 無効用ノ郵便切手
 類ナキヤ否ヤ
 郵便取扱規則第四
 十八條 左ニ記載
 スル郵便物ハ差出
 人ニ受取証書(書
 留郵便受取証)ヲ
 交付スヘシ
 一書留郵便物

取り其書類ニ添付シタル送付録ニ受付取扱者ノ認印ヲ押捺
 シテ還付シ之レナキハ郵便取扱規則第四十七條ニ依り受
 取証書ヲ交付スヘシ
 前項ニ依り受取証書ヲ交付スルキハ摘要ノ欄ニ「訴訟書類」
 ト記載スヘシ
 ●下総國野尻局問合^{六月} 民事訴訟ニ付判事ノ實地檢閲等ノ爲メ(原告又
 出張先ヨリ發スル分モ本手續ニ據リ取扱フヘキヤ
 ▲回答^{六月} 送達手續ニ據ルノ限リニアラス
 ●名古屋局照會^{九月} 裁判所書記又ハ其委任ヲ受ケタルモノヨリ云々ト
 アル其委任ヲ受ケタルモノトハ執達吏其他ノ吏員ニ限ル義ヤ
 ▲回答^{六月} 書記見習又ハ雇等ニテ書記ノ事務ヲ代理スルモノヲ指スモ
 ノトス

郵便取扱規則第二
 百廿二條 郵便物
 ハ配達ノ時刻前集

●東京局照會^{五月} 訴訟書類受付ノ際送達証書若クハ告知書添付ナキモ
 ノハ斷然受付ヲ拒絕スヘキハ勿論ノ儀ト思慮スルモ若シ各道ヨリ到着ノ
 物ニシテ送達証書告知書等添付ナキモノアルハ送達セス受付原局へ返
 戻スヘキ儀ナルヤ
 ▲回答^{七月} 便宜調製ノ上其旨差立局へ通牒スルモノトス
 ●函館局伺^{七月} 訴訟書類ニシテ投函アルトキハ假令成規ノ郵便切手貼
 付シアルモ訴訟書類ノ記号ハ之ヲ貫抹シ郵便函投入ノ文字ヲ記入シ取扱
 者捺印ノ上普通書留郵便物トナシ取扱フヘキヤ
 ▲指令^{八月} 訴訟書類タルコトヲ知り得ヘキモノハ送達手續ニヨリ取扱
 フヘシ
 第三條 前條ニ依り受取リタル訴訟書類自局配達區内ニ送
 達スヘキモノハ送達証書用紙ヲ添へ郵便取扱規則第二百二

配入郵便物区分ニ
必用ノ時間ヲ見積
リ集配人ニ引渡ス
ヘシ

民事訴訟法第百五
十條 日曜日及一
般ノ祝祭日ニハ執
達ノ爲スヘキ送
達ハ裁判官ノ許可
ヲ得ルトキニ限り
之ヲ施行スルヲ得
得

十二條ニ依リ之ヲ集配人ニ引渡スヘシ
自局配達區内ニ屬セサルモノハ「訴訟書類」ノ記號ヲ朱記シ
通常ノ手續ニ從ヒ配達局ニ遞送シ其配達局ニ於テハ亦第一
項ノ手續ニ從ヒ集配人ニ引渡スヘシ

● 敦賀局伺 六月 自局配達區内ニ送達スヘキ訴訟書類ハ訴訟法第百五十
條ニ基キ日曜日及一般ノ祝祭日ニハ裁判官ノ許可ヲ得ルニアラサレハ送
達セシムヘキ限リニ之レナキヤ

▲ 指令 七月 民事訴訟法第百五十條ハ郵便送達ニ適用スヘキモノニアラ
ス通常郵便配達ノ例ニ依ルヘシ

● 函館局伺 七月 郵便條例ニ於テ宛名人郵便物ヲ開封シタルキハ其受領
ヲ拒ムヲ得サル制ナルモ訴訟書類ニ在テハ宛名人開封ノ後裁判所書記ヨ
リ發シタル書類ニ式ニ違フ等ノ點(青森裁判所ニテ發シタル書類宛名人

移轉ノ爲メ當地ニテ配達シタル爲メ管轄違トナリ或ハ必用ナル書類ノ具
備セサル乎若クハ署名捺印漏アル等ノ類)アルヲ以テ受領ヲ拒ムキハ假
令開封後ト雖モ其拒絕ヲ許スヘキ義ナルヤ
▲ 指令 八月 郵便局ハ其拒絕ヲ許スヘキ限ニ非ス
第四條 送達証書ハ通常ノ者ニ宛タルモノニハ第一號用紙
ヲ用ヒ事務所アルモノニ宛タルモノニハ第二號用紙ヲ用ヒ
官廳會社等ニ宛タルモノニハ第三號用紙ヲ用ユヘシ

(壹號)

一封書 通

裁判所 書記課 發
控訴院

縣 府 郡 市 村 町 番

某 宛

一 受取本人 某 印

二 本人署名捺印スルコト能ハス

三 本人封書ヲ受取リ署印捺印スル
コトヲ拒ミタリ

四 本人不在ニ付其妻
渡シタリ

六 本人不在ニ付成長シタル雇人
ニ渡シタリ

七 本人理由ナシ受取方ヲ拒ミタルニ付
其場ニ差置キタリ

八 本人其家族雇人等受取人無之ニ付
市長ニ預置キ住居ノ戸ニ告
知書ヲ貼付シ且其旨ヲ隣家ノ者ニ名
ニ通知シタリ

送達
場所

右之通取扱候也

郵便局

年月日 配達人

● 函館局伺 配達人ト之レアリ然ルニ
郵便局ニハ集配人ナル名稱ハ之レアリ配
達人ナル名稱之レナキ等ナルモ此場合ニ
ハ殊ニ配達人ナル名稱ヲ付スル義乎果シ
テ然ラハ集配人ト訂正相成間敷ヤ
指令 八月 郵便局ハ其拒絕ヲ許スヘキ限ニ非ス

郵便送達証書

本人不在ニ付其妻
渡シタリ

送達証書		縣府 郡市 村町 番	其宛
一	受取本人	某	印
二	本人署名捺印スルコト能ハス		
三	本人封書ヲ受取リ署印捺印スルコト拒ミタリ		
四	本人不在ニ付其妻 渡シタリ		
五	本人不在ニ付其成長シタル ニ渡シタリ		
右之通取扱候也		知書ヲ貼付シ且其旨ヲ隣家ノ者二名ニ通知シタリ	
年月日 郵便局 配達人			

裏面ハ表面之通

●鳥取局照會^{六〇}成長シタル男女云々等ノ文字アル處右「成長シタル」ト云フ形容詞ハ凡ソ十五歳以上ニシテ書類受授上ニ差支ナシト認ムルモノヲ意味スル義ナルヤ

▲回答^{六〇}元來該書類送達人ノ任意ニ依ルモノニシテ豫メ年齢ヲ以テ之カ標準ヲ定ムルハ甚ダ難事ニ之レアルヘク要スルニ實際其人ニ就キ成長シタルト認メ得ラレ且書類受授上差支ナシト思慮スルモノニハ總テ送達シ然ルヘシ

●土佐國赤岡局問合^{六〇}表裏ノ契印ハ集配人ノ印ナルヤ

▲回答^{六〇}裁判所ニ於テ押印セサルハ郵便局印ヲ捺スルモノトス

●同局問合 封書トアル脇ニ書記課發トアレ右ハ一例ヲ示シタルモノニシテ裁判所書記ノ委任ヲ受ケタルモノヨリ差出ス訴訟書類ナルトキハ其差出人氏名ヲ記スル義乎

▲回答 見解之通

●下総國野尻局問合^{六〇}契印ハ郵便局印ヲ捺スヘキ譯ナルヤ又配達人印ハ小印ヲ使用致サセヘキヤ

▲回答^{六〇}裁判所ニ於テ捺印セサルトキハ前段之通

●名古屋局照會^{六〇}成長シタルモノ云々トアルハ民法上ノ成年(編者曰ク民法上ノ成年トハ廿歳以上ヲ云)ト云フニ非ス其訴訟書類ヲ受取リ之ヲ安全ニ本

右之通取扱候也

●函館局伺^{七〇}配達人ト之レアリ然ルニ郵便局ニハ集配人ナル名稱ハ之レアリ配達人ナル名稱之レナキ筈ナルモ此場合ニハ殊ニ配達人ナル名稱ヲ付スル義乎果シテ然ラハ集配人ト訂正相成間敷ヤ

▲指令^{七〇}配達人ト訂正相成間敷ヤ付訂正ヲ要セス

三號書式ハ略似タルヲ以テ略ス

人ニ渡スヘキ手立ヲナス思慮アルモノヲ成長者ト云フヘキカ其能力ヲ有スルニハ普通先ヅ十八九以上ト見做スヘキヤ

▲回答^{六〇}凡ソ十六歳以上普通成長シタル人ト認メ得ルモノトス

●松山局伺^{六〇}送達証書第一號ノ第一、二、三欄第二號ノ第一欄第二號ノ第二欄本八トアルハ實際書類ヲ受取リタルモノト解得スヘキヤ

▲指令^{六〇}見解之通

●筑前國蘆屋局照會^{六〇}第一號送達証書中一欄ヨリ八欄マテ送達方垂示ニ相成處就中七ノ欄内ニ記載ノ取扱ヲナス場合ニ於テハ該欄内ニ配達人ヲシテ捺印致サスノミニテ宜シキヤ將タ他ノ各欄ヘ朱書致サセ然ルヘキヤ

▲回答^{七〇}各欄中相當ノ記入ヲ要セサルモノハ抹線(朱、墨、荷、レニテ)ヲ施スヘシ但相當ノ記入ヲナシタル各欄ニ集配人ノ押印ヲ要セス

●函館局伺^{七〇}書式中男女トアルハ長男次男等ノ類ヲ指スノ義ト推察スルモ父兄姉妹等ニ交付スル場合モ之レアルヘシ右等ノ場合ニ於テハ男若クハ女ノ字ハ抹殺シ父某妹某ト記スル義乎或ハ男女ノ文字ハ男性女性ノ區別ト認メ男父某女妹某ト記スヘキ義乎

▲指令^{七〇}前段伺之通

第五條 第十一條ニ依リ集配人訴訟書類ヲ持歸リタルトキ
ハ自局配達区内ニ属スルモノハ第三條第一項ノ手續ニ從ヒ
更ニ送達セシメ其配達區外ニ属スルモノハ同條第二項ノ手
續ニ從ヒ配達局ニ遞送スヘシ

後ニ掲ケタル公達
第二百八十三號參
照ヲ要ス

第六條 訴訟書類ノ送達ヲ終リタル後集配人ヨリ送達証書
ヲ受取リタルキハ免稅書留郵便ト爲シ其書類ヲ差出シタル
裁判所書記又ハ其委任ヲ受ケタル者ニ送付スヘシ

●土佐國赤岡局問合^{六月十四日} 送達証書ヲ差出人へ送付ノ場合ハ日記帳へ詳
細記載ヲ要スヘキ義ナルヤ若シ要セストセハ後日該書類ニ關シ搜索ヲ要
スル場合ハ何ニ據リ得ル乎

▲回答^{六月廿四日} 前段ノ通

第七條 訴訟書類ヲ受取ルヘキモノ所在明瞭ナラサル等ニ
テ送達ノ途ナキモノハ事由ヲ付箋シ免稅書留郵便トナシ其
書類ヲ差出シタル裁判所書記又ハ其委任ヲ受ケタルモノニ
還付スヘシ

●羽後國舟越局照會^{六月十六日} 本條ニ訴訟書類ヲ受取ルヘキモノ所在明瞭ナ

ラサル等ニテ送達ノ途ナキモノハ事故付箋ノ上還付スヘシトアリ若シ可
受取者所在明瞭即チ他出先明瞭ナルモ歸日不分明ノトキハ本條ニヨリ還
付スヘキモノナルヤ將第十六條ニヨリ取扱フヘキモノナルヤ

▲回答^{六月廿九日} 他出先ニ遞送スヘシ

第八條 訴訟書類ヲ引受ケタルキハ書留郵便物引受帳備考
欄内ニ「訴訟書類」ト記載シ又配達シタルキハ書留郵便物配
達帳ニ同様記載スヘシ

第九條 訴訟書類ヲ配達スルニハ書留郵便物配達証ヲ用ユ
ルニ及ハス

●土佐國赤岡局照會^{六月十四日} 本條ニ依ルキハ書留配達証ヲ用ルニ及ハスト
アリ然ルキハ通常郵便取扱規則第二百十三條第二項ノ割印ハ送達証書ト
ナスヘキヤ將タ要セザルヤ

郵便取扱規則第二
百十三條 第二項
集配人配達済ノ上
其証書ヲ持歸リタ
ルトキ之ヲ受取リ

其受取人ノ証印正
シキヤ否ヤヲ檢査
シ不都合ナキトキ
ハ配達帳ニ記載ノ
欄ト配達証書トニ
取扱者ノ印ヲ以テ
割印スヘシ

▲回答六月 後段ノ通

●名古屋局照會六月 訴訟書類ヲ配達スルニハ書留郵便物配達証ヲ用ユ
ルニ及ハストアルニ依リ訴訟書類送達証ヲ裁判所書記又ハ其委任者へ還
付スルキハ其領收証ヲ取り保存可致カ將タ其義ニ及ハサルヤ

▲回答六月 後段見解之通

●阿波國富岡局照會八月 本條ノ儀ニ付名古屋局ヨリ疑義照會ニ對シ後
段見解ノ通ト有之然ルニ尙左ノ件々了解致兼ルニ付御明示相成度例へハ
當局ヨリ差立ニ係ル訴訟書類ニシテ後日宛局ヨリ裁判所書記又ハ其委任
者へ宛タル免稅書留郵便物到着アリ當局ニ於テハ曩キニ訴訟書類ヲ宛タ
ル局名ニシテ送達手續第二條ノ委任者宛ヲ目標トシ其儘(書留郵便物配
達帳ニ記入スルハ勿論)配達スヘキ義ナルヤ若シ然リトセハ實ニ漠然タ
ル取扱ノ様考ヘラル何トナレハ訴訟書類外相互ニ文書往復(書留トスヘ

郵便取扱規則第二
百十一條 郵便局
ハ書留郵便物受取
人ト其郵便物ノ受
授ヲ証明スルカ爲
ニ郵便局其郵便物
配達ノ際書留郵便
配達証書云々ヲ調
製スヘシ

キ物件)モ之レアルト故概マテ送達証封中之レアルト見做ス譯柄ニモ強
テ至ラサルヤニ愚考ス或ハ受取人轉居等ノ故ヲ以テ甲局ヨリ乙局等へ回
送シタル場合ニ於テハ甲乙何レヨリ送達証返戻相成ルモ判然ナラサルヲ
以テ自然取扱規則第二百十一條ニ依リ配達証書ヲ適用セサルヲ得サルノ
疑義ヲ生ス抑モ右ハ何レノ認定ヨリ送達証書封中アリト認メ本條ニ準據
スヘキ義ナルヤ並送達証返戻ノ場合ニ於テハ表面ニ送達証ト朱書シ差支
之レナキヤ

▲回答七月 右名古屋局へノ回答ハ封中送達証書ニ對スル受領証ヲ指示
シタルモノニ之レアルハ勿論該送達ハ手續第六條ニ據リ免稅書留郵便ト
ナシ還付スヘキモノニ付其書留郵便ニ對シテハ配達証ヲ付シ証印セシム
ルハ當然ナリ

第二章 集配人送達方

第一款 通常ノ者ニ宛タルモノ

第十條 通常ノ者(通常ノ者トハ事務所アル者及官廳ニ宛タル訴訟書類ハ其上封ニ記載シタル宛名ノ家ニ持行キ其宛名本人ニ送達スヘシ)

●陸中國藤澤局照會十九日 訴訟書類送達ノ際宛名本人已ニ死亡シタル者ナルキハ其儘持戻其旨付箋ノ上差出人へ返送スヘキヤ將タ其家族ニ渡シ送達証書第四欄又ハ第五欄ニ本人死亡ニ付其妻、母、又ハ父、子男女、某ニ渡シト記載シ然ルヘキヤ

▲回答九月 右ハ相續人アルキハ其者ニ交付シ且ツ送達証書ノ不用ニ屬スル欄ニ「本人死亡ニ付相續人何某ニ交付ス」ト記載シ又相續人ナキトキハ事由ヲ付箋ニ差出元へ還付スヘシ

第十一條 宛名本人若シ上封宛名ノ家ヲ移轉シタルキハ其

移轉先ニ持行キ送達スヘシ但其移轉先自分ノ受持區内ニアラサルキハ郵便局ニ持歸リ取扱者ノ指圖ヲ受クヘシ

●羽後國船越局照會十六日 本條ニ宛名人若シ上封宛名ノ家ヲ移轉シタルキハ其移轉先へ持行キ送達スヘシトアリ若シ移轉先自分ノ受持區内ニシテ市外ナルキハ市外集配人出立後ト雖モ配達程度ニ關セズ更ニ配達セシムヘキモノナルヤ將タ次便ノ配達マテ留置キ差支ヘナキヤ

▲回答六月 後段見込ノ通

第十二條 送達スヘキ家ニ於テ宛名本人ニ出合ハサルキハ其家ニ同居スル親族又ハ雇人ニ送達スヘシ但其親族又ハ雇人幼年ノ者ナルトキハ此限ニアラス

●下總國野尻局問合十六日 家族又ハ雇人ノ成長ト幼年トノ年齢區別ハ如何心得ヘキ乎

▲回答六月廿五日 年齢ニ區別ナキニ依リ凡ソ十六歳以上普通成長シタル人ト認メ得ルモノト心得ヘシ

●松山局伺六月廿六日 但書中幼年ノ者ナルキハ此限リニアラストアルニ據レハ送達証書中ノ成長シタル男女若クハ雇人トアルハ幼年者ニアラサルヲ表ハシタル義ニシテ年齢凡ソ十歳以上ニテ是非ノ辨別アルモノト認メ得ヘキモノヘハ書類ヲ渡スヲ得ヘキヤ

▲指令七月九日 凡ソ十六歳以上普通成長シタル人ト認メ得ヘキ者ニアラザレハ渡スヲ得ス

●筑前國蘆屋局照會七月六日 本條ニ則リ親族又ハ雇人ニ送達スルトキハ一號送達証書中相當欄内ニ配達人ヲシテ親族又ハ雇人ノ氏名ヲ記入セシメ而シテ該欄内餘白ニ親族雇人ニ記名調印致サスヘキヤ

▲回答七月十七日 送達証書一欄受取本人某印トアル所ニ受取本人タル親族雇

人ヲシテ記名捺印セシムヘシ

●東京局照會七月廿八日 本條ノ親族又ハ雇人ニ送達セシキ捺印ニテモ差間ナキヤ

▲回答八月五日 捺印シ能ハサル理由ヲ附記スルノミニテ捺印セシムルニ及ハス

●宇都宮局照會八月十七日 本條ノ手續ヲ爲スニ當リ其同居スル親族及雇人ニ於テ本人不在等ノ故ヲ以テ該書類ノ受取方ヲ拒ミタル場合ノ取扱方明文無之右ノ場合ハ手續第十六條ニヨリ市町村長ニ預ケ方取計ヒ然ルヘキヤ

▲回答八月廿二日 右ハ同手續第十五條ニ依リ取扱ハルヘシ

第十三條 在營在艦ノ陸海軍下士兵卒及ヒ之ニ相當スル者ニ送達スヘキ訴訟書類ハ其長官隊長又ハ其代理者ニ送達スヘシ

第十四條 在監中ノ者ニ送達スヘキ訴訟書類ハ其監獄署長又ハ其代理者ニ送達スヘシ

第十五條 送達ヲ受クヘキ者人違ビニ依ルニアラス又ハ送達証書ノ式ニ違フトコロアルニアラス又ハ其他此手續ニ背クトコロアルニアラスシテ謂レナク受取方ヲ拒ミタルキハ其送達スヘキ家ニ差置キ立歸ルヘシ

●成松局照會六月 本條ノ場合ニ於テ本人強情申立拒絶スルニ際シ末段ノ如ク取扱置立去後書類破毀スル等ノ虞之レアルキハ歸局後直ニ手續書ヲ徴シ該副本ヲ以テ差出元ヘ其旨通牒尙ホ書留郵便物配達帳備考欄内ニ記入シ置キ然ルヘキヤ若シ後日右ニ關シ事實審問ノ爲メ証人トシテ召喚ヲ受ケ出庭ノ場合ニ於テ之ニ要スル費途ハ何レヨリ支出スヘキ乎

▲回答六月 前段ハ見込ノ通後段ハ其事實ヲ具シ監督局ヘ請求然ルヘシ

郵便條例第五十四條 完納稅郵便物宛名ノ家ニ於テハ其配達ヲ拒ムヘカラス免稅郵便物亦同シ

同二百廿八條 第五十四條第六十三條第六十四條ヲ犯シタルモノハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

郵便條例第四十九條 書留郵便物ノ配達ヲ受ケタルモノハ其差出人及受取人ノ氏名配達ノ年月日ヲ記シタル受取証書ニ調印スヘシ本人不在ナルトキハ其代人記名調印スヘシ

●船越局伺六月 本條末項ニ謂レナク受取方ヲ拒ミタルキハ其送達スヘキ家ニ差置キ立歸ルヘシトアリ然ラハ完納稅郵便物ヲ理由ナクシテ受取方ヲ拒ミタルモノト認メタリ故ニ郵便條例第五十四條ノ違犯者ト存シテ

ル果シテ前陳條例ニ違犯セシモノトスレハ罰則第二百廿八條ニ依リ處分スヘキモノト思見スレトモ右ハ處分ノ限ニ之レナキヤ若シ處分ノ限リニ非ズトスレハ該公達ハ郵便條例ニ抵觸セサルモノナルヤ

▲指令六月 郵便條例第五十四條ノ違犯ヲ以テ論スヘキ筋ニアラス

●石見國大家局問合六月 本條ニ謂レナク受取方ヲ拒ミタルキハ其送達スヘキ家ニ差置キ立歸ルヘシトアリ此場合ニ於テハ送達セシ証據物件ナク條例第四十九條ノ規定モアリ且第五十四條規定ニ對シテハ第二百廿八條ノ處分方モアリ自然抵觸スル廉如何

▲回答六月 配達人ノ送達証書ニ記載スル所ヲ以テ証據トスヘキモノニ

民事訴訟法第四百十九條 法律上ノ理由ナクシテ送達ノ受取ヲ拒ムトキハ交付スヘキ書類ヲ送達ノ場所ニ差置クヘシ

付條例第四十九條ノ手續ヲ要セス又送達スル訴訟書類ヲ差置キ立歸ル儀ハ民事訴訟法ノ規定ニ基ク義ニ付條例第五十四條ハ適用スヘキモノニアラス

●筑前國蘆屋局照會六月 本條末項ニ於ケルモ第一號送達証書ハ正副二通ヲ作り一通ハ訴訟書類ト一同送達ヲ受クヘキ家ニ指置キ立歸ルヘキ儀ナルヤ

▲回答七月 見込ノ通

●函館局伺七月 本條送達証書ノ式ニ違フトコロアルニアラス又此手續ニ背クトコロアルニアラス云々トアリ右送達証書ノ式ニ違フト云ヒ此手續ニ背クト云フハ如何ナル場合ナニ云フヤ

▲指令八月 送達証書ニ配達人記名調印セス又ハ事務所ヲ肩書シタル書類ヲ居室ニ於テ配達セントスル如キモノヲ云フ他ハ類推了解スヘシ

第十六條 第十條乃至第十二條ノ手續ニ依リ送達スヘキ家ニ於テ宛名本人又ハ其他ノ者ニ送達シ能ハサルハ其地ヲ管轄スル市町村長ニ預ケ置キ第四號書式ノ告知書ヲ作り之ヲ其家ノ戸ニ張り付ケ尚ホ近傍ニ住居スル二人ノ者ニ其旨ヲ告ケ置クヘシ

(第四號)

送達告知書

一封書

通

右 裁判所書記課ヨリ

宛ノ封書

市町村長ニ預置候間速ニ受取可申候也

年月日

郵便局

配達人 某

印

●高松局伺六月 本條ニ於テ第十條乃至第十二條ノ手續ニ依リ送達スヘ

キ家ニ於テ宛名本人又ハ其他ノ者ニ送達シ能ハサルトキハ其地ヲ管轄スル市町村長ニ送達スヘキ訴訟書類ヲ預ケ置キ云々ト明示相成タル處村長ノ如キハ職務時間中ト雖モ役場ニ不在ノ事間々アリ且又配達ノ節既ニ退場後ニ係ルコトモ少ナカラス然ルナ今若シ必ス市町村長ニ預ケ置カサルヘカラサルコトモハ或ハ距離遠隔ナル村長ノ居宅ヲ尋チサルヘカラサル場合モアルヘク且地方ニ依テハ村長ノ居宅ヲシテ他局區内ニ屬スルコトモ又或ハ之レナシトセサルヘクシテ彼是時日ヲ費シ緊要事件ノ其用ヲ欠クコトナキヲ保シカタク就テハ第十三十四兩條ノ如ク市町村長不在ノトキハ助役其他相當代理者ニ預ケ置キ而シテ宿直員ノ外在勤者之レナキトキハ宿直員ニ預ケ置クコト、ナシ尙十三十四兩條モ亦場合ニ於テハ同様宿直員ニ送達致シ然ルヘキヤ

▲指令六月五日 相當代理者ト認メ得ラレ且ツ代理ノ資格ヲ以テ受取ルモノ

ハ総テ伺之通

- 土佐國赤岡局間合六月四日 町村長ニ書類ヲ預ケ置カントスル場合日曜日祭日或ハ退廳刻後ニテ不在ノトキハ其居宅ヘ持參スヘキモノナル平將ヲ第廿八條ノ例ニ依リ雇人タル宿直小使ヘ渡スモ妨ナキヤ
- ▲回答六月 前段見解之通リ
- 大分局間合六月四日 本條ハ郵便區畫ニ抱ハラズ執行シ然ルヘキヤ
- ▲回答六月五日 見込ノ通
- 美濃國香六局照會六月十五日 本條ノ取扱ヲナスハ郵便取扱規則第二編第廿八章ノ規定ニ依ラズ該書類送達ノ第一日ニ於テ直ニ施行スヘキ義ト心得ヘキヤ
- ▲回答六月 見解ノ通リ
- 同局照會 本條見解ノ通リトスレハ甲集配區ニ於テ舉家不在其他ニヨリ送達シ能ハサルトキハ管轄市役所町村役場ハ乙集配區ニアルニ於テ告

郵便取扱規則第二編第三百六十條 郵便配達ノ除宛名又ハ肩書ノ家舉家不在ニシテ配達スルコト能ハサルトキハ配達時間中在宅スヘシト思慮スル日時ニ更ニ配達スヘシ

知書ハ直ニ貼付スルヲ得ルモ書類ヲ市町村長ニ預クルノ手續ニ至テハ自然翌日ナラサレバ爲シ難シ(尤一日一回)然ルニ宛名人等歸家ノ際告知書ヲ視テ直ニ市役所又ハ町村役場ニ至リタルニ其書類未ダ市町村長ニ預ケサル前ナルキハ甚ダ不都合ヲ生ス右ハ如何取扱フ筋ナルヤ

▲回答 乙集配區ニアル場合ト雖モ直ニ市町村長ニ預クルノ手續ヲナスモノトス

●羽後國船越局照會六月十六日 本條ニ配達シ能ハサルトキハ云々トアリ若シ實際送達シ能ハスシテ配達人ガ本條ノ手續ヲ履行シタル以上ハ受取人ニ於テ訴訟書類ヲ受取リタルト否トニ關セズ配達ト心得ヘキヤ若シ受取人他行等ニテ實際受取ヘキ者之ナキ旨ヲ以テ付箋ノ上市町村長ヨリ返戻シタル場合ニハ通常書留郵便物取扱ノ手續ヲ以テ差出人ニ還付差支ナキヤ將シ配達濟ノモノニ付受理スルノ限リニ之ナキヤ

▲回答六月廿九日 配達濟ノモノニアラス行先ノ明カナルモノハ其地ニ轉送シ否ヲサルモノハ第七條ニ依リ差出元ヘ還付スヘシ

●福島局伺六月廿五日 本條ニ宛名本人又ハ其他ノ者ニ送達シ能ハサルトキハ云々トアリ右ハ相當配達便ニ配達シ能ハサルトキハ直ニ同條ノ手續ヲ執行スヘキ義ナルヤ

訓示第二十一號ハ後ニ掲ク

▲指令七月 本年訓示第二十一號但書ニヨリ取扱フヘシ

●同局伺 前項送達ヲ受クヘキモノハ郵便區市外甲集配區ニアリ而シテ訴訟書類ヲ預ヘキ町村長ハ乙集配區ニ在ルトキハ甲區ノ集配人ハ其儘所屬局ニ持戻リ所屬局ニ於テハ更ニ乙區受持集配人ヲシテ預ケシムヘキヤ
▲指令 甲區集配人ニ於テ町村長ヘ預ケ置ク手續ヲ爲サシムルモノトス但町村役場遠隔ニヨリ本文手續ヲナス爲メ通常郵便物ノ配達ヲ終了スル能ハサルトキハ本年訓示第二十一號ニヨリ取扱フヘシ

●同局伺 前項ノ通ナルトキハ市外ハ通常一日一回ノ集配ナルカ故ニ當日送達シ能ハサルモノハ翌日町村長ニ預クルノ手續ナルヤ

▲指令 集配便數ニ關セス實際當日其送達及貼付ヲナシ得ヘキトキハ當日之ヲナサシムベシ

●同局伺 送達告知書ハ町村長ニ送達シ能ハサル訴訟書類ヲ預ケタル後送達スベキ家ノ戸ニ貼付スルノ順序ナリ然ルトキハ前條ノ場合ニ在テハ第一日甲區受持集配人配達シ能ハス第二日乙區集配人ヲシテ其書類ヲ町村長ニ預ケシメ第三日更ニ甲區集配人ヲシテ送達告知書ヲ貼付セシムル手續ナルヤ

▲次便又ハ翌日ニ於テ町村長ニ預ケ置クトキハ同時ニ他ノ集配人ヲシテ告知書ノ貼付ヲナサシムヘシ

●松山局伺 六月廿六日 本條ニヨリ該書類ヲ市町村長ニ預クヘキ場合ニハ先ツ

之ヲ市町村長ニ預ケ置キ然ル後告知書ヲ作り之ヲ其家ノ戸ニ張付クル等ノ順序ナル處宛名ノ場所ヨリ市役所又ハ町村役場ニ到ラントスルニハ初メニ巡回シタル遠距離ノ地ニ立戻ラサルヲ得サルカ若クハ當該集配人ノ受持區外ナルトキ直ニ市役所又ハ町村役場ニ到ルトキハ往復ノ爲メ時間ヲ徒費シ他ノ郵便物ニ延達ヲ來スベク依テ郵便區市内送達ニ係ルモノニ限り便宜直ニ告知書ヲ作り之ヲ張付クル等ノ手續ヲ爲シ他ノ郵便物ノ配達ヲ終了シタル後(當該集配人持受區ノ内外ニ拘ハラズ)市町村長ニ預ケ差支ナキヤ

▲指令 七月 本年訓示第二十一號ニヨリ取扱フベシ

●同局伺 前項ノ場合ニ於テ市町村長不在等ノ爲メ代理者ニ預ケタルカ若クハ公暇日又ハ昇廳前退廳後ニテ當直員ハ預ケタルトキハ送達証書第八欄内ヘハ代理ト當直員トヲ問ハス總テ市町村長代理ト記載シ然ルヘキ

▲指令 市町村長代理何ノ誰ト記載セシムルモノトス但宿直員ハ市町村長代理ノ資格ヲ以テ受取ルモノニ非ラサレハ預クルコト得ス

●長門國船木局伺^{六月廿九日}宛名本人不在ノ爲メ訴訟書類ヲ達シ能ハサルトキハ所轄市町村長ニ預ク置キ而シテ第四號書式ノ告知書ヲ作り再ヒ宛名本人ノ宅ニ立戻リ戶外ニ張付スヘキヤ或ハ便宜上ヨリ彙キニ戶外ヘ張付シ而シテ後所轄市町村長ヘ訴訟書類預ク置キテモ妨クナキヤ

▲指令^{七月二日}前段伺之通但告知書貼付ノ後直ニ市町村長ニ送達書類ノ預ク方ヲナシ得ベキトキハ便宜後段ノ通取扱フモ苦シカラス

●同局伺 宛名本人不在ニ付所轄市町村長ヘ訴訟書類ヲ預ク置クモ役場事務閉場後或ハ病氣其他事故ノ爲メ市町村長出勤セサル場合ニハ役場員ヘ渡方取計ヒ然ルヘキヤ又田舎ノ役場ニ於テハ宿直員不在ニシテ役場小使留守居セシトキハ小使ヘ渡方取計然ルヘキヤ

▲指令 市町村長代理トシテ受取ルベキモノヘハ交付スルヲ得ベキモ留守居ノ小使ニハ交付スルヲ得ス代理受領者ナキトキハ市町村長居室ニ就キ預ク方取計ハシムベシ

●美作國行方局問合^{七月十五日}(一本條ニ依リ告知書執行セシトキ尙近傍ニ住居スル二人ノ者ニ其旨ヲ告ケ置クベシトアリ然ルニ一戸或ハ二戸^(本大字リ道程八九丁乃至十二三丁)離レ家ニ告知書ヲ張付クタルトキ二戸アルハ其一戸ト本部落最近ノ住居者一戸又ハ二戸即二人ニ告ケ置クベキヤ^(部落ヨリ遠キハ二十五六丁距離アル)(二前項ノ告知書ハ一家學テ不在ナルニ付執行スベキモノ近傍住居者二人ニ告ケ置クハ該家ニ歸宅者アル迄ニ暴風雨又ハ隱謀者ノ所爲等ニテ破乱紛失或ハ宛名本人ノ惡意ヨリ如何ナル所爲ナキニアラス故ニ證據ノ爲ナルヤ^{(三)前項果シテ然リトセハ告ケ置キタルハ何番戸何誰其家族ニ告ケタル場合ハ(妻又ハ)誰ト配達人ニ筆記致サセ歸局ノ際配達帳備考欄ニ繼紙設ク詳細}

記載シ置クヘキヤ(四)凡テ告知書ヲ執行シ近傍住居者ニ其旨告ケ置ク場合ニ於テ訴訟書類ノ送達ヲ受ケ告知書執行ヲ受ケタル者ノ縁故アル者又ハ該訴訟事件ニ關係アルト思量スルトキハ近傍住居者^{最近}甲乙二者ニ告ケス丙丁ノ二者ニ告ケ置クモ妨ナキヤ將タ關係縁故ノ有無ヲ思量セズ告ケ置クヲ本令ノ旨趣ナルヤ

▲回答^{七月}廿四日 第一ヨリ第三迄總テ見込ノ通第四ハ關係縁故ノ有無ニ關セズ確實ト認ムヘキ者ニ告ケ置クヲ要ス

●函館局伺^{七月}十三日 宛名人ノ家ニ於テ本人並ニ家族雇人等受取人ナキニ依リ之ヲ戸長役場ニ預ケントスルニ該役場ニ於テモ相當ノ受取人ナキトキハ戸長住居ニ送達シ然ルヘキヤ

▲指令^{七月}廿七日 伺之通

●津局照會^{七月}廿七日 町村長ヨリ郵便局ヘ訴訟書類返戻ノ際受取証ノ請求ア

後ニ掲ケタル公達
第三百九十九號參
照ヲ要ス

ルニ於テハ之ヲ拒ミ得サル様存セラル書留郵便物受取證ヲ交付スル義ト心得ヘキヤ前項ノ場合受取人所在判明ニシテ再ヒ送達ノ手續ヲ履行スヘキモノナルトハ差立元ヨリ添付セル送達證書及告知書ハ既ニ使用後ナルヲ以テ其後ニ於テ更ニ調製スヘキ義ト心得ヘキヤ

▲回答^{八月}十三日 見解之通

第十七條 送達ノ途中送達スヘキ者ニ出會ヒタル所ハ直ニ之ヲ引渡ス^一ヲ得但其者受取方ヲ拒ミタル所ハ強テ引渡ス^一ヲ得ズ

●東京局照會^{七月}廿八日 本條ノ途中ニ於テ本人ニ引渡ストキ拇印ニテモ差問ナキヤ

▲回答^{八月}五日 拇印シ能ハサル理由ヲ附記スルノミニテ拇印セシムルニ及ハス

第十八條 第十條乃至第十七條ノ手續ニ依リ送達シ終リタルハ送達證書二通ヲ作り一通ハ送達ヲ受ケタル者ニ交付シ一通ハ之ヲ郵便局取扱者ニ差出スヘシ

●羽後國船越照會^{十六日} 本條ニ送達シ終リタルハ送達證書二通ヲ作りトアリ右ハ送達シ終リタルト否トニ關セス一般ニ送達證書二通ヲ作り一通ハ受取人ニ交付シ一通ハ又取扱者ニ差出サセヘクモノナルヤ而シテ其差出シタル分ヲ訴訟書類發送先ヘ送付スルモノトスレハ郵便局ニ於テ扣トナスヘキモノ之レナク右ハ別段扣ヲ要セスシテ差支ヘナキヤ
▲回答^{六月廿九日} 見込ノ通り

第十九條 送達證書ハ送達ヲ受ケタル者ヲシテ署名捺印セシメ送達ノ場所年月日時方法(本人又ハ雇人ニ渡シタルノ類)ヲ相當ノ欄ニ記入シ且ツ自ら署名捺印スヘシ

送達ヲ受ケタルモノ署名捺印スルノ能ハス又ハ署名捺印スルノヲ拒ミタルハ其由ヲ送達證書相當ノ欄ニ記載スヘシ
●宮崎局照會^{廿二日} 本條ニ據リ時刻ヲ記スヘキ相當欄ナシ如何心得ヘキヤ

▲回答^{六月廿三日} 送達月日時ハ送達場所ノ欄ニ記入シ送達ノ場所ハ月日時ニ續ケテ記載セシムヘシ

●下總國野尻局問合^{廿五日} 本條ノ時刻ハ其宛名ヘ到着シタル時刻ヲ記入スヘキヤ又ハ處分決了ノ時刻ヲ記入スル譯ニ之レアルヘキヤ
▲回答^{六月廿五日} 前段見解之通

●羽後國船越局照會^{十六日} 送達證書ニハ送達ヲ受ケタルモノヲシテ署名捺印セシメトアリ右送達ヲ受ケタルモノトハ單ニ受取本人ヲ指シタルモノニ本人不在ニテ其妻及雇人等ニ渡シタル場合印鑑所持セサルハ事

由記載セシノミニテ差支ヘキヤ果シテ然リトセハ第十六條ニヨリテ取
扱ヒ市町村長ニ預ケ置キタル場合ニモ事由記載ノミニテ宜シキモノナル
ヤ若シ他ノ受取人即チ他人等ニ於テモ署名捺印スルモノトスレハ送達證
書中何レノ欄ヘ示スヘキモノナルヤ

後ニ掲ケタル公達
第三百九十九號ニ
依リ變更チ生ス參
照アルヘシ

▲回答廿九日 宛名人ト否トニ拘ハラス現由受取リタルモノヲシテ署名捺
印セシメ若シ署名又ハ捺印スルコト能ハサルトキハ不用ニ属スル何レカノ
欄ヲ塗抹シテ之ニ事由ヲ記載セシムヘシ又市町村長ニ預ケ置キタル場合
ハ見込ノ通

●松山局伺廿六日 本條第二項ニ送達ヲ受ケタルモノ署名捺印云々ト有之
ハ宛名本人ニ限リタルモノナルヤ將タ其妻若クハ成長シタル男女ト雇人
トヲ論セス實際書類ヲ受取リタル者ヲモ包含スル義ナルヤ

▲指令廿九日 後段見解之通

●同局伺集配人ヲシテ送達證書相當欄内ニ文字ヲ記入セシムルニモ毛筆
墨汁等ヲ携帶セシムルハ管ニ取扱ヒ煩ハシキノミナラス爲メニ幾分
カノ時間ヲ徒費スルノ恐レアリ依テ鉛筆ヲ用ヒ記入セシメ然ルヘキヤ

▲指令廿九日 以テ記載セシムルヲ得ス
●敦賀局伺廿三日 第十八條及第十九條ノ場合ニ於テハ集配人ニ墨汁及時
計ヲ携帶セシメサルヲ得サル義ニ之レアリ右ハ現品交付相成ルモノナル
ヤ將タ局費ヲ以テ支辨スヘキヤ

▲指令廿一日 時計ハ携帶セシムルニ及ハズ送達ノ時刻ハ正確ニ知リ能ハ
サルトハ當該配達人ノ思量ヲ以テ記入セシムヘシ又墨汁ハ本年公達第二
百八十四號ニ依ルヘシ

第二款 事務所アル者ニ宛タルモノ
第二十條 公證人役場辯護士事務所其他事務所ヲ肩書ニシ

公達第百八十四
號ハ後ニ掲ケ

タル訴訟書類ハ其場所ニ持行キ宛名本人ニ送達スヘシ
 第廿一條 前條ニ依リ送達スル時宛名本人ニ出會ハサルキ
 ハ其事務所ニ使用スル筆生其他ノ雇人ニ送達スルヲ得
 第廿二條 第廿條及第廿一條ノ手續ニ依リ事務所ニ於テ送
 達スル能ハサルキハ宛名本人ノ住居ニ送達スヘシ
 第廿三條 送達ノ途中宛名本人ニ出會ヒタルキハ直ニ之ヲ
 引渡スコトヲ得但其者受取方ヲ拒ミタルキハ強テ引渡スコ
 トヲ得ス

●東京局照會 七月 本條ノ途中ニ於テ本人ニ引渡スルハ捺印ニテモ差問
 ヘナキヤ

▲回答 八月 捺印シ能ハサル理由ヲ附記スルノミニテ捺印セシムルニ及
 ハス

第廿四條 送達ヲ受クヘキ者人違ヒニ依ルニ非ス又ハ送達
 證書ノ式ニ違フトコロアルニアラズ又ハ其他此手續ニ背ク
 トコロアルニアラズシテ謂レナク受取方ヲ拒ミタルキハ第
 十五條ノ手續ニ依リ取扱フヘシ
 第廿五條 第廿條乃至第廿二條ノ手續ニ依リ事務所又ハ住
 居ニ於テ送達シ能ハサルキハ第十六條ノ手續ニ從ヒ取扱フ
 ヘシ

●美濃國香六局照會 六月 本條ノ取扱ヒヲナスハ郵便取扱規則第二編第
 廿八章ノ規定ニ依ラス該書類送達ノ第一日ニ於テ直ニ施行スヘキ義ト心
 得ヘキヤ

▲回答 六月 見解之通

第廿六條 第廿條乃至第廿五條ノ手續ニ依リ送達シ終リタ

ル氏ハ第十八條及第十九條ノ手續ニ從ヒ送達證書ヲ作り送達ヲ受ケタル者ニ交付シ及郵便局取扱者ニ差出スヘシ

第三款 官廳會社等ニ宛タルモノ

第廿七條 諸官廳市役所町村役場會社其他之ニ類スル者ニ宛タル訴訟書類ハ事務所ニ持行き其長タル者又ハ實際事務ヲ擔當スル者ニ送達スヘシ

若シ事務ヲ擔當スル者數人アル氏ハ其内一人ニ送達スヘシ
第廿八條 前條ニ依リ送達スル氏ハ事務所ニ於テ其長タル者及事務ヲ擔當スル者ニ出會ハズ又ハ是等ノ者差支アリテ直接ニ受取りカタキ旨申出ツル氏ハ其他ノ官吏役員又ハ雇人ニ送達スヘシ

第廿九條 第廿七條及第廿八條ノ手續ニ依リ事務所ニ於テ

送達スル能ハサル氏ハ送達ヲ受クヘキ本人ノ住居ニ送達スヘシ

第三十條 事務所ノ外ニ於テ送達ヲ受クヘキ者ニ出會ヒタル氏ハ直ニ之ヲ引渡スヲ得但其者受取方ヲ拒ミタル氏ハ強テ引渡スヲ得ス

第卅一條 送達ヲ受クヘキ者若シ特ニ事務所ヲ設ケサル氏ハ其住居ニ送達スヘシ此場合ニ於テハ例ヘ住居ノ外ニ於テ送達ヲ受クヘキ者ニ出會フコトアルモ之ヲ引渡スヘカラス
●名古屋局照會^{六月十九日} 特ニ事務所ヲ設ケサル氏ハ住所ヘ送達シ此場合ニハ例ヘ住居ノ外ニ於テ送達ヲ受クヘキ者ニ出會フモ之ヲ引渡スコトヲ得ストアリ右ハ獨リ該場合ニ限リ如何ナル理由ニヨリ住居外ニテ引渡スヲ得サル義ナリヤ

民事訴訟法第百四十四條送達ハ何レノ地ヲ問ハス送達ヲ受ク可キ人ニ出會ヒタル地ニ於テ之ヲ爲スヲ得然レモ其人カ其地ニ住居又ハ事務所ヲ有スル氏ハ其住居又ハ事務所ノ外ニ於テ爲シタル送達

ハ其受取リテ拒マ
サリシトニ限リ效
力ヲ有ス
同第三百十八條第
二項(公又ハ私ノ
法人及ヒ其資格ニ
於テ訴ヘ又ハ訴ヘ
ラトナ得ル會社
又ハ社團ニ對スル
送達ハ其首長又ハ
事務擔當者ニ之ヲ
爲スナ以テ足ル)
ノ場合ニ於テ法律
所ノ外ニ於テ法律
上代理人又ハ首長
若クハ事務擔當者
ニ爲シタル送達ハ
其受取リテ拒マサ
リシトニ限リ效力
ヲ有ス

▲回答^{六月廿五日} 民事訴訟法第四百十四條ニ基キ規定セラレタルモノニ付其理由ニ至リテハ説明ノ限ニ之レナシ

第卅二條 送達ヲ受クベキ者人違ヒニ依ルニ非ス又ハ送達證書ノ式ニ違フコトアルニ非ス又ハ其他此手續ニ背クトコロアルニアラスシテ謂ハレナク受取方ヲ拒ミタルキハ第十條ノ手續ニ依リ取扱フヘシ

●美濃國香六局問合^{六月廿九日} 本條ノ取扱ヒチナスハ郵便取扱規則第二編第廿八章ノ規定ニ依ラヌ該書類送達ノ第一日ニ於テ直ニ施行スヘキ義ト心得ヘキヤ

▲回答^{七月十三日} 見解之通

第卅三條 第廿七條乃至第廿九條及第卅一ノ手續ニ依リ事務所又ハ住居ニ於テ送達シ能ハサルキハ第十六條ノ手續ニ

從ヒ取扱フヘシ

第卅四條 第廿七條乃至第卅三條ノ手續ニ依リ送達シ終リタルキハ第十八條及第十九條ノ手續ニ從ヒ送達證書ヲ作り送達ヲ受ケタル者ニ交付シ及郵便局取扱者ニ差出スヘシ

第三章 雜則

第卅五條 此手續ニ定ムルモノ、外ハ總テ書留郵便物通常ノ規則ニヨリ取扱フヘシ

第二編 附則

本省六月十七日告知

本年公達第二百三十七号訴訟書類送達ニ要スル送達證書及告知書用紙ハ郵便物發送ノ都度裁判所ヨリ送付アルヘキ筈ニ付各局ニ於テ引受ノ際注意アルヘシ

●函館局伺^{七月}裁判所ヨリ訴訟書類へ添付シ來ル送達證書并告知書ハ該郵便物ノ量目ニ算入致サル義ナルヤ

▲指令^{八月}月 伺之通

公達第二百五十八號 六月廿日

行政裁判所ヨリ差出シタル訴訟書類モ亦本年^{六月}公達第二百五十七號送達手續ニ依リ取扱フヘシ

訓示第廿一號 七月四日

本年^{六月}公達第二百五十七號訴訟書類郵便送達手續第十六條第廿五條及第三十三條ノ場合ニ於テ告知書ヲ貼附スヘキ住居又ハ事務所ト市役所又ハ町村役場ノ間遠隔ナルニ依リ此手續ヲナス爲メ通常郵便物ノ配達ヲ終了スルコト能ハント思慮スルトキハ次便又ハ翌日其手續ヲ爲サシムヘシ此場合ニ於テ集配人受持區ノ異ナルトキハ各受持集配人ニ一ハ告知書貼附

一ハ郵便物ヲ預クルノ手續ヲ爲サシメ送達證書及告知書ニ二人トモ署名捺印セシメ且ツ其上部ニ分擔ノ事項^(告知書ヲ貼付シタル者郵便物ヲ預ク置キタル者)ヲ記載セシムヘシ

但次便又ハ翌日其住居若クハ事務所ニ於テ交付シ得ル見込アルキハ更ニ送達セシムヘシ

●岩代國白河局問合^{七月}月 手續第十六條第廿五條及第三十三條ノ場合取扱方ニ付訓示第廿一號達ノ次第モ之レアル處甲局ニ於テ告知書ヲ貼附スヘキ住居又ハ事務所ト市役場又ハ町村役場ノ間三里乃至四里隔絶シ次便又ハ翌日其手續ヲ爲サシムルモ區内へ配達スヘキ郵便物多クシテ到底其配達ヲ了ヘ難ク市役場又ハ町村役場持區ノ乙局ヲ經テ配達スル方却テ便宜ト認メタル場合ニ限リ右様取扱フヘキヤ果シテ乙局ヲ經テ配達スルモノトスルキハ該手数料ハ甲乙何レノ局へ支給セラルトヤ

▲回答^{七月十六日}訓示第廿一號ニヨリ次便又ハ翌日ニ於テ預ケ付ケ及ヒ告知書ノ貼附ヲ爲スニハ集配人ヲシテ通常郵便物ノ配達ヲナサシメントスルモ配達方遅延ニ及ヒ又ハ當日配達ヲ終リ難キ様ノ場合ニ於テハ其預ケ付方ハ別ノ集配人ヲシテ専ラ之レニ從事セシムルヲ要ス

●越前國吉崎局^{七月十三日}訓示第廿一號ヲ以テ公達第百三十七號第十六條第廿五條第三十三條ノ場合ニ於テハ告知書貼附スヘキ住居又ハ事務所ト市役所又ハ町村役場ノ間遠隔ナルニ依リ此手續ヲナス爲メ通常郵便物ノ配達ヲ終了スルコト能ハスト思慮スルキハ次便又ハ翌日其手續ヲナサシムヘシ云々ノ義了解スト雖モ尙市役所又ハ町村役場等他ノ郵便區内ニシテ甚キク遠隔シ次便翌日ハ勿論以後通常郵便物ノ配達ヲ^(一郵便區一日一回一人ノ集配人ニシテ)終了スルコト能ハスト思慮スルキハ如何取扱ヘキヤ

公達第百九十

▲指令^{八月三日}臨時集配人ヲ雇入レ預付ケノ手續ヲ爲サシメ其遠隔ナルカ

ハ後ニ掲ケ郵便局ノ集配費ハ別配達ノ外ハ受取ナルニヨリ實費ニ對シテ過不足アルモ追徴追給セラレス

物品ノ整理ハ事業用器具器械ニ編入ス

爲メ一日ニ往復シカタキトキハ本年七月公達第百九十號ニ依リ取扱フヘシ

公達第百八十三號 七月九日

本年六月公達第百三十七號訴訟書類郵便送達手續第七條ノ場合ニ於テハ書留郵便物配達證ヲ用ヒ證印セシムヘシ

公達第百八十四號 七月九日

本年六月公達第百三十七號訴訟書類郵便送達用トシテ豫テ墨汁ヲ備置キ右書類送達ノ時ニ限リ之ヲ集配人ニ携帯セシムヘシ

但自局經費ノ内ヲ以テ調製スヘシ

公達第百九十號 七月十四日

本年六月公達第百三十七號訴訟書類郵便送達手續第十六條第廿五條及第廿三條ノ場合ニ於テ其書類ヲ預クヘキ市役所又ハ町村役場所在地他ノ

郵便區ニ屬シ遠隔ニシテ一日ニ往復シ難キ場合ニ於テハ其地所屬ノ郵便局ニ其預ケ方ヲ依托スヘシ

依托ヲ爲ス郵便局ニ於テハ告知書ヲ貼附スヘキ自局集配人ナシテ送達證書及告知書ニ署名捺印セシメ其書類ニ添付シ共ニ回送スヘシ

依托ヲ受ケタル郵便局ニ於テハ自局集配人ナシテ預付ヲ爲シ送達證書及告知書ニ夫々記入捺印セシメ送達證書ノ一葉及告知書ハ依托ヲ爲シタル郵便局ニ還付スヘシ

依托ヲ爲シタル郵便局ニ於テ其還付ヲ受ケタル日ハ告知書ハ之ヲ貼附セシメ送達證書ハ送達手續第六條ニ依リ差出元へ還付スヘシ

送達證書及告知書ニハ兩郵便局ニ於テ本年七月訓示第廿一號ニ準シ各分擔ノ事項ヲ記入セシムヘシ

公達第三百九十九號 十月六日

訴訟能力ヲ有セサルモノトハ無能力者ニシテ廿歳未満ノモノヲ云フ

明治廿四年六月公達第二百二十七號訴訟書類郵便送達手續第十六條第廿五條及第三十三條ニ據リ訴訟書類ヲ市町村長ニ預ケタル時ハ送達證書ノ第一欄ヲ塗抹シ其市町村長シテ之ニ署名捺印セシムヘシ

若シ受取本人他ニ移轉シタル等ニ因リ市町村長ヨリ訴訟書類ヲ還付スルキハ適宜ノ受領證書ヲ交付スヘシ

●函館局伺十三日 訴訟能力ヲ有セサルモノニハ配達スヘカラサル義ト相考フレレモ手續中別ニ明文之レナク又郵便局ニ於テ宛名人ノ訴訟能力ヲ有セサルモノナルヤ否ヤノ判別ハ相立兼ルニ付別ニ探究ヲ要セス受取人ニ交付然ルヘキヤ

▲指令七八 郵便局ハ訴訟書類宛名人ノ訴訟能力者ト否トニ關セス送達手續ニヨリ取扱フヘキモノトス

●同局伺 留守中信書ノ到達スルキハ其受領方ヲ隣家等ニ囑托シ學家不

在チナスモノアリ右等ノ類ニ宛タル訴訟書類ハ受領ノ囑托ヲ受ケタル者ニ配達シ差支ナキヤ

▲指令 受托者ニ配達セス訴訟書類送達手續第十六條ニヨリ取扱フヘシ
●同局伺 宛名人所在明瞭ナラス若クハ移轉分明ナラサルモノハ訴訟書類ト雖モ殊更證明等ヲ要セス普通不能配達郵便物ノ例ニヨリ取扱ヘキヤ
▲指令 伺之通

●同局伺 鑛山出稼人石工樵夫炭燒漁夫等配達不便ノ地ニ宛タル訴訟書類ハ普通郵便配達ノ例ニ依リ事務所雇主ノ家ニ配達差支ナキヤ

▲指令 事務所又ハ雇主ノ家宅ニ配達セス其所在地名記載アルモノハ所在地ニ就キ配達スヘシ

第三編 雜件

公達第二百六十七號 六月三十日

訴訟書類送達料請求書ハ監督局ニ於テ調査上必用アルヲ以テ左項ヲ具備スルヲ要ス 配達月日 受取人住所 氏名 差出元 箇數 料金 事由トス 特ニ事由ニハ配達済又ハ某局ト分擔ト記載アルヘシ

明治廿三年三月 公達第七十二號三等郵便電信局郵便局經費受渡規則第一條
臨時費ノ末項ヘ左ノ三項ヲ追加シ第三號書式左ノ通改正ス
(第三號書式ハ交付金通知書ナルヲ以テ編者之ヲ略ス)

臨時費末項追加

為替資金利子

為替資金為替料

訴訟書類送達料

●神戸局問合七月 公達第二百六十七號ヲ以テ三等郵便電信局郵便局經費受渡規則追加相成候處訴訟書類送達料ノ儀ハ其配達ヲ了セサル場合即手續第七條ニ依リ他ノ配達局ヘ遞送シタルキハ給與ノ限ニ之レナクト存スルモ同第七條ニ依リ還付シタルキハ送達ノ目的ヲ遂ケスト雖モ郵便局ニ於テハ相當手數ヲ悉シタル義ニ付其請求ニ對シテハ當然給與スヘキモノ

ト心得ヘキヤ果シテ然ラハ訴訟書類ノ宛名本人移轉等ノ爲メ甲局ヨリ乙局ニ乙局ヨリ丙局ト順次遞送シ丙局ニ於テ送達ノ途ナキモノト認メ還付シタル場合ハ如何スヘキヤ

▲回答七月 送達ノ目的ヲ遂ケサルモノハ手數料給與セサルニ付甲局ヨリ乙局ニ乙局ヨリ丙局ト順次遞送シ丙局ニ於テ送達ノ途ナク還付シタル場合ハ何レノ局ヘモ手數料給與セサル義ト承知相成度

●東京局照會廿八日 (一)送達手數料ハ訴訟書類一通ニ付金五錢宛支給スヘキヤ (二)第十六條ニ依リ市町村長ヘ預ケタルモノ其後受取人ヘ送達シ能ハサル趣ヲ以テ返戻相成タルキハ手數料ハ支給スヘキモノニ之レナキヤ (三)公達第二百九十號ノ送達ニ係ル手數料ハ依托ヲ爲シタル局ノミヘ支給スヘキヤ (四)通常郵便物ノ配達方遅延等ノ場合ニ於テ市町村長ヨリ預ケ方ヲナス爲メ臨時集配人ヲ雇入レタルキハ別途相當賃金支給スヘキヤ

▲回答五月 (一)ハ郵便物一箇ニ付金五錢宛支給相成然ルヘシ (二)ハ市町村長ニ預付シタルトキハ後ニ返戻ヲ受クルモ手數料ハ支給セラレ然ルヘシ (三)ハ公達第二百九十號ニ依リ甲局ヨリ乙局ノ市町村長ニ預付ノ手續ヲ依トシタル場合ニハ各半額ヲ支給セラレ然ルヘシ

●津局照會七月 手續第十六條ニ依リ書類ヲ町村長ヘ預ケ置キタル場合ハ羽後國船越局照會御局回答ニ配達済ノモノニアラストアリ然ルキハ右町村長ヨリ於テ受取人他行等ノ節返戻ノ日限ナキヲ以テ預ケ置キタルヨリ正當配達済ト認メ得ル際涯無之送達手數料支給方ニ差支エ右ノ場合ハ町村長ヨリ配達ヲ了リタル旨ノ證明書ヲ需メ手數料請求書ニ添付セシムル義ト心得ヘキヤ

▲回答八月 正當手續ニ依リ既ニ町村長ニ預ケ方取計ヒタル場合ニ於テハ配達済ト見做シ送達手數料ハ支給スヘキ筈ニ付別ニ町村長ノ證明書ヲ

要セズ

訴訟書類送手續終

五十

明治廿四年十二月十八日印刷
同 年十二月十九日出版

定價金拾六錢

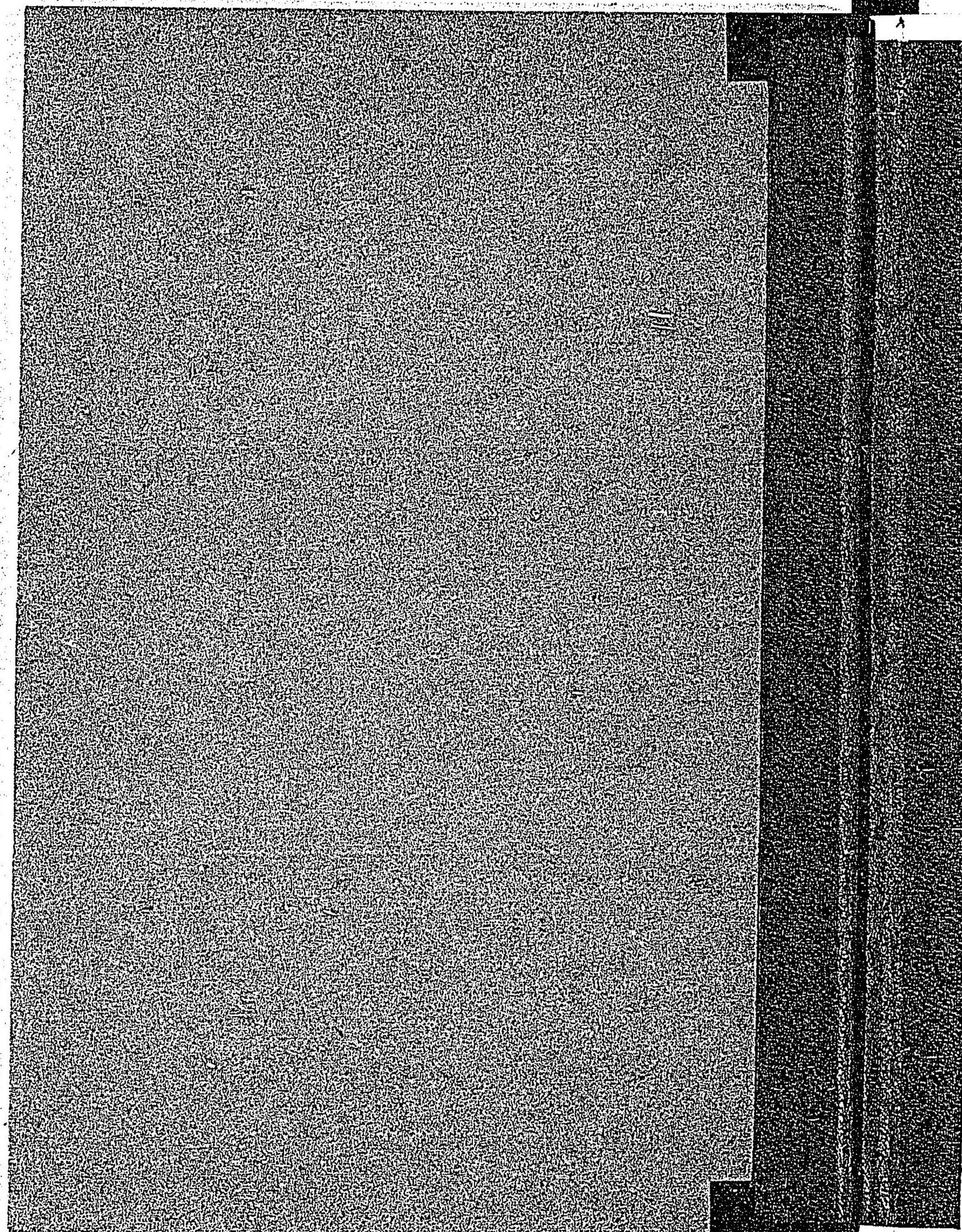
編纂者

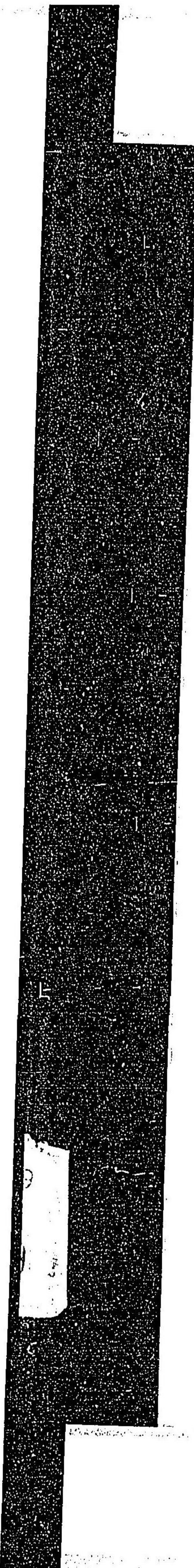
岐阜縣岐阜市七軒町
二百八十九番戸寄留
森 榮次郎

發行兼印刷人

同縣同市笹土居町十一番戸
稻葉太七

F-82





Small white rectangular mark or label on the left edge of the redacted area.

Small white rectangular mark or label at the bottom edge of the redacted area.

訴訟書類郵送手続

森 栄次郎

国立国会図書館

036807-000-9

特49-709

訴訟書類郵送手続

森 栄次郎/編

M24

BBS-0245



4
7

